

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

社会共創デジタル学環では、地域社会の抱える諸課題を多様な人々と協働して解決にあたることのできる人材を育成するため、高等学校等で培われた基礎学力を備え、主体的に学習や研究に打ち込むための3つのC（Challenge：挑戦意欲、Cooperation：協働意欲、Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受入れます。

求める学生像〔3つのC〕

Challenge

挑戦意欲

多様な人々と協働して地域課題の解決に挑戦しようとする意志を持つ人

Cooperation

協働意欲

多様な人々と協働できる倫理観・社会性・コミュニケーション能力を持つ人

Contribution

社会貢献意欲

地域社会が抱える諸課題の解決や新たな価値の創造を通して、人類の持続可能な幸福社会の実現に貢献しようとする意欲を持つ人

入試情報

	学生募集要項公表 （予定）	試 験 日 （予定）	実施教科・科目等	
			大学入学共通テスト	個別学力検査等
一般選抜（前期日程）	令和6年11月	令和7年 2月	5教科5科目	面接
一般選抜（後期日程）		—	5教科5科目	—
学校推薦型選抜Ⅰ	令和6年 7月	令和6年11月	—	面接・集団討論

学生納付金

入 学 金	授 業 料		
282,000円	前期分：267,900円、後期分：267,900円	年額：535,800円	

※金額は予定です。在学中に改定が行われた場合は、改定時からの新授業料が適用されます。

キャンパス

山形大学 小白川キャンパス

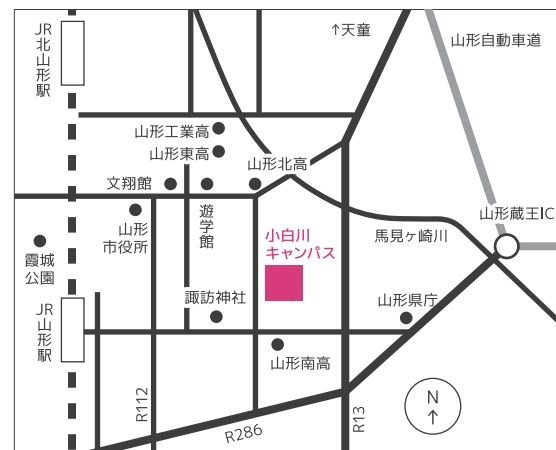
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

J R山形駅から東方へ約2.5km

- J R山形駅から「山形県庁」行きバスで「南高前・山大入口」下車（約6分）、徒歩7分
- J R山形駅からベニちゃんバス「東くるりん 東原町先回りコース」で「山大前」下車（約9分）
- 徒歩の場合はJ R山形駅から約30分

J R仙台駅から

- 高速バス「山形行き」で「南高前・山大入口」下車（約55分）、徒歩約7分



お問い合わせ先

国立大学法人 山形大学
小白川キャンパス事務部総務課 学環準備室担当

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12
TEL：023-628-4505 FAX：023-628-4120
E-mail: yu-gasoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
URL: https://www.cid.yamagata-u.ac.jp

学環ウェブサイト



インスタグラム



※ 社会共創デジタル学環（仮称）は設置構想中です。設置計画は予定であり、今後、内容に変更が生じる可能性があります。

国立大学法人山形大学

社会共創デジタル学環

〔仮称〕

令和7年度 開設予定 / 入学定員 30名

総合知の実践で地域社会にイノベーションを生み出す

「総合知」とは、内閣府において「多様な『知』が集い、新たな価値を創出する『知の活力』を生むこと」と定義されており、イノベーション創出や社会課題解決に向け、所属組織や専門領域を超えた様々な知を融合させることです。

School of Collaborative Regional Innovation and Data Science, Yamagata University

山形大学 社会共創デジタル学環とは？

人と共創し、データに基づく価値創造で 地域社会をマネジメントする人材を育む新しい教育組織です

人口減少や高齢化が進展する地域社会では、過疎化や産業の衰退など様々な地域課題に直面しています。そうした地域課題を解決していくには、課題を俯瞰して思考できる文系・理系の総合知を持ち、デジタルを活用して課題を分析し、多様な人々と協働してその解決策を創造できる人材が必要です。このような背景のもと本学環では、多様な人々と協働して地域課題の解決策を企画・実施できる「マネジメント力」とデジタルを活用して的確に課題を分析し、新たな価値を創造できる「デジタル利活用力」、そして文系・理系の学問分野を横断する学際的な専門知識と論理的思考力（学際的思考力）を身に付けた、課題解決型の実践人材を育成します。

教育の特色

1 | 文理横断の学び

地域課題を俯瞰的に思考するための文理を横断した学際的な専門知識と論理的思考力（学際的思考力）、地域の特性やニーズを捉えるデジタル利活用力、及びビジネス・アントレプレナーシップ※1の視点で多様な人々と協働できるマネジメント力を用いて、地域課題の解決に貢献できる実践的能力を身に付けます。

※1 起業や新事業の創出などに高い意欲を持ち、自ら積極的に挑戦していく姿勢や発想、能力などを指す起業家精神を意味する

2 | 教育支援体制

小白川キャンパスには、アントレプレナーシップ教育研究センターとデータサイエンス教育研究推進センターの教育研究推進組織、及びやまがた社会共創プラットフォームも設置されており、本学環の教育を組織的に支援できる体制が整っています。

3 | マルチメンター制度の導入

学生の主体性や挑戦する姿勢を尊重し、多様な地域課題に対して柔軟な研究テーマを設定するとともに、文系・理系の学問分野に跨る、専門性の異なる複数教員が助言・指導します。

養成する人物像

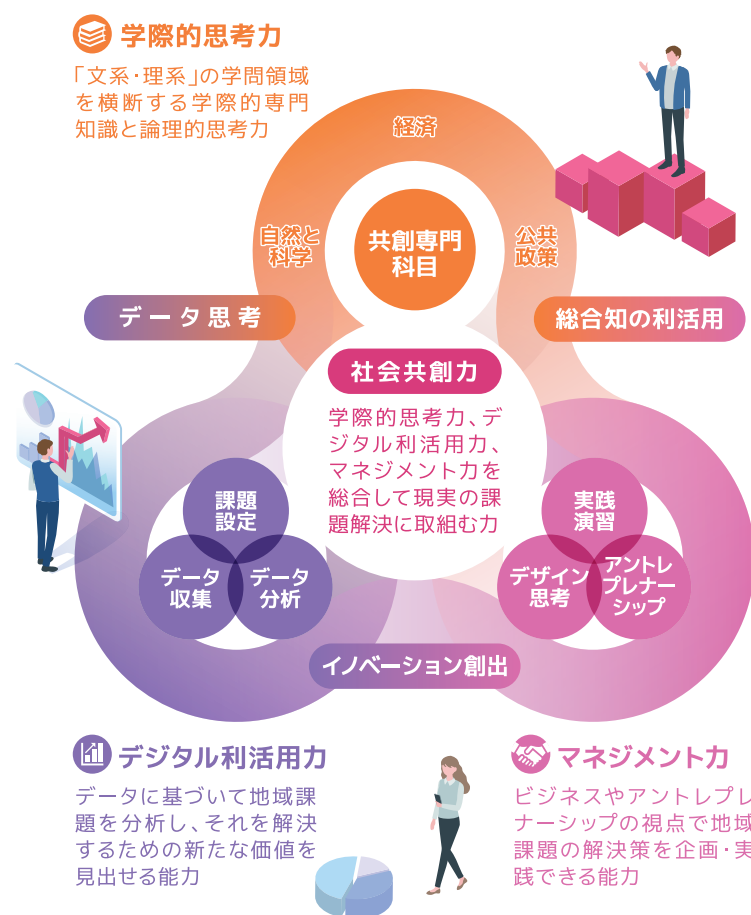
マネジメント力、デジタル利活用力及び文理の幅広い学問領域の学際的知識と論理的思考力を身に付け、多様な人々と協働して地域社会の課題解決に貢献することができる人材を養成します。

文理を横断する専門分野の知識と論理的思考力を身に付け、自身の有する能力を活かしながら様々な原因が複雑に絡み合う地域課題の解決に挑戦することができる人材

異なる背景や能力をもつ多様な人々と協働して地域課題の解決に取り組めるチーミング力とコミュニケーション力、及び課題に応じたリーダーシップやフォロワーシップを発揮することができる人材

アントレプレナーシップやビジネスの視点を持ち、デジタルを活用して地域社会における課題の発見や分析、解決のための企画立案、新しい地域価値の創造に貢献できる人材

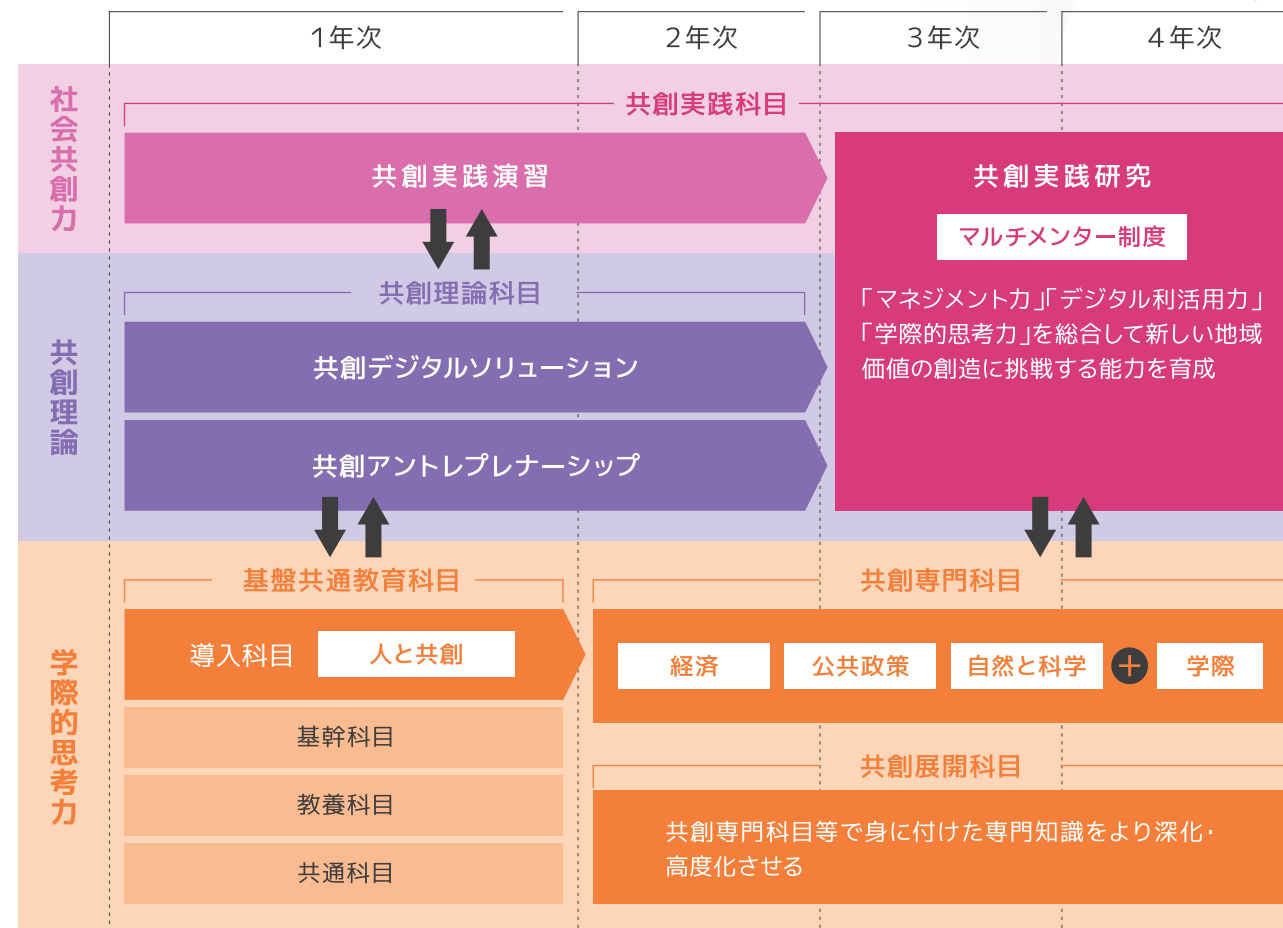
FEATURES



PERSONS

カリキュラム内容 ※イメージ

地域課題の発見や分析、解析のための企画・立案により、
新しい地域価値の創造に貢献できる人材を育む



共創デジタルソリューション

デジタル技術の基本から、実データを使った処理技術まで幅広く学びます。さらに、AIの活用方法を修得し、地域社会の問題を解決するためのデータ分析力や、新しい地域価値を生み出す力を身に付けます。

共創アントレプレナーシップ

ビジネスプランニング、マインドセット、経営実践等に係る科目を配置し、イノベーション創出につながるクリエイティブ且つ変化と向き合う姿勢、リーダーシップ、事業計画の立案と共同実践力等を身につけ、多様な人々とコミュニケーションをとりながら、起業を含む新規事業の企画や実践を通じて地域課題の解決を図っていく実践的な能力を育成します。

共創実践科目

共創理論科目で修得する「マネジメント力」と「デジタル利活用力」を実践するために必要な基礎スキルや行動・思考力を修得し、地域社会の諸課題を理解しながら、課題解決のための解決案の立案とそれを地域で実践する力等を育成します。

導入科目「人と共創」

地域社会で暮らす多様な人々の立場や気持ちを理解することは、共に社会を創るために非常に重要です。この講義は、地域社会で生活する様々な人々のお話を伺い、社会共創デジタル学環における学びの意義を把握することを目指します。各学生が学環における自身の学びをプランニングします。